

発熱および呼吸器症状のある小児の診療マニュアル

— 新型コロナウイルス対策（診療体制） 坂口こどもクリニック —

1. 院内の環境整備

- ・ 備品(イス・スリッパ・その他)の整理整頓、および洗面所・トイレの点検清拭
- ・ 定期的（30分～60分毎）ベンチ・ドアノブなどのアルコール消毒
- ・ 受診前の電話トリアージの徹底、玄関での病状・体温チェックの徹底
- ・ 来院の時点(玄関)で院内に入る患児および付き添い家族の検温をする。
また、手指消毒や4歳以上のマスク着用を促す。
- ・ 診療時間帯を厳守—健診・予防接種の時間帯に発熱者を入室させない。
- ・ 診察後の隔離診察室（個室2）および 隔離待合室（個室1または個室3）の換気・アルコール消毒などの管理

2. 電話でのトリアージ

発熱および呼吸器症状のある小児の受診は電話で確認して COVID-19 やインフルエンザの疑いがある場合は隔離診察室（個室2）に誘導する。到着したら駐車場から受付に電話してもらい専用入り口から隔離診察室に入るようにする。

- ✓ 症状： COVID-19 やインフルエンザの可能性はないか？

発熱	いつから／発熱期間	37.5～38.0℃／38.1～39.0℃／39.1℃以上
呼吸器症状	咳／喘鳴／呼吸困難	など
一般状態	倦怠／元気ない／不機嫌／顔色不良／食欲ない／うとうと	など
その他	体の痛み／筋肉痛／腹痛／下痢／嘔吐／匂いがしない(嗅覚異常)／ 味がしない(味覚異常)	など

- ✓ 周囲の状況（感染の可能性はあるか？）： 潜伏期間も考慮する

- ・ 同居家族の 38℃以上の発熱者の有無
- ・ 濃厚接触者や症状(気管支炎・肺炎など)のある人との密な接触の有無
- ・ 保育園・幼稚園・学校の感染症状況
- ・ 家族や友人などの外出の有無・立ち回り先

3. 電話でのトリアージで COVID-19 やインフルエンザの疑いがない場合

玄関での検温で体温が 37.5℃以上の時は、隔離待合室（個室1または個室3）へ誘導、COVID-1 やインフルエンザの疑いもあるとして注意する。

4. 隔離診察室（個室2）での診察

- ・ サージカルマスク／ガウン／帽子／手袋／フェイスシールドで対応する。
- ・ 聴診器、ライト、舌圧子、体温計、ペン、検査キットは備え付けとする。